

### 【テーマ】

- 2-活動資金確保のための取組  
(1) 特産品等の開発  
(2) 特産品等の販路開拓・拡大

### 【採択年度】

R2・R3・R4 年度

## 宇城市 三角サトウキビ活性会

過疎化と高齢化が進み、活力が小さくなった地域を見て、かつて江戸後期にこの地域をサトウキビで豊かにした「高橋伊左右衛門」に倣い、失われた黒砂糖づくりを復活させつつ、小学校での食育や農福連携などに取り組んでいます。

### 地域の課題と活動をはじめた動機

過疎化と高齢化が進み、拠り所となる小学校も保育園もJA支所も無くなりました。

そこで、江戸後期に困窮したこの地域に、徳島のサトウキビを広め、地域を豊かにした前越村庄屋の「高橋伊左右衛門」を手本として、伝統製法による黒砂糖づくりの復活と特産品づくりを目指しました。

### 活動（事業）内容

- 休耕地等を活用し、サトウキビを植え付けました。
- 旧JA支所の空き倉庫を借り受け、黒砂糖づくりに必要な40Lの釜×3機の窯を製作しました。
- 青海小学校での食育や農福連携にも取り組み、サトウキビ栽培や黒砂糖づくりを行いました。
- 黒砂糖をベースとした商品開発（シロップ等）とパッケージデザインなどの特産品づくりに取り組みました。

### 成果

- 各地区においてサトウキビ栽培が広がり、黒砂糖づくりへの意欲が高まったことで、集落連携体制や協働の意識が醸成されました。
- みかん畑等がサトウキビ畑に変わり、現在では2.5haまで広がっています。

### 現在の活動と今後の展望

- 青海小学校や地元福祉施設と連携したサトウキビ栽培と黒砂糖づくり等の地域活動や地域の多くの方が参加できるイベントを開催して、地域活性化を図っていきます。
- スコーンやパウンドケーキ、クッキー等の黒砂糖を活かした商品開発と販売の安定化を図ります。

### 連携団体

- 青海小学校や地域の福祉施設
- JAや各区の集落組織

### 情報発信媒体

- なし



サトウキビ畑での刈り取り風景  
(写真提供：青海小学校)



サトウキビ畑の見学



黒砂糖づくり



製糖釜

【地域の概要】 宇城市大岳地区 (人口) 750人 (世帯数) 346世帯 [住民基本台帳 2023.12 現在]  
【組織の概要】 三角サトウキビ活性会 会長：高濱 希好 会員数：20名 活動拠点：JA倉庫の製糖所

## 地域の盛り上がりと話題性づくり

地域の過疎化が進行しているので、なんとか地域が盛り上がるような話題性づくりとして、一度途切れた黒砂糖づくりに取り組みました。黒砂糖づくりが商品開発のイベントにもつながりました。



農福連携の取り組み (写真提供：豊洋園)



スコーンなどの商品づくり

## 伝統を守り、これからも受け継いでいくこと

伝統的な黒砂糖づくりの復活から会長が守ってこられた製法を活性会として引き継いでいこうと、昔ながらのやり方での黒砂糖づくりを永く後世までつないでいきます。



青海小学校の体験教室 (写真提供：青海小学校)



製糖作業

## 地域独自の取り組み（アピールと商品の良さ）

活性会を構成している6行政区（大口、手場、古場、宮崎、黒崎、上本庄）は、黒砂糖だけでなく、柑橘類やコノシロ・コウイカ等の農水産物が数多くあります。地域の良さをアピールし、お客様に提供したいという思いで取り組んでいます。



黒糖を使った商品



商品検討会